

Look by Ear, Read by Hand, Walk by Head
— Education for Blind Children —

耳で見る
手で読む
頭で歩く
～盲児の教育～

2023 視障生社交與自主國際學術研討會
開催日 2023.10.21-22
開催会場 臺灣国立台南大学



小野寺学園 明日佳幼児教育専門学校
校長 鈴木 重 男

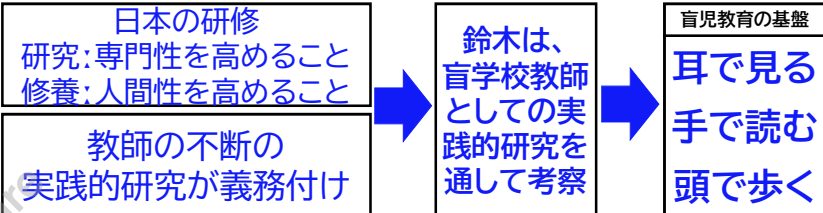
盲児の教育を行う教師は、日々の実践的研究が義務

臺灣 教師法

第33條 各級學校教師在職期間應主動積極進修、研究與其教學有關之知能。

日本 教育基本法第九条

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。



1973年-1975の3年間、毎年10日間、台湾の盲児融合教育を視察、
韓繼綏老師が対応 ⇒ 巡回教師の方々の情熱、創意工夫を学ぶ

臺灣の盲児融合
教育視察 ⇒
1975年、盲学校
中学部卒業生の
日本で最初の普
通高校への統合
教育が実現



(13) 追内 11版 昭和50年(1975年) 6月3日 火

教育

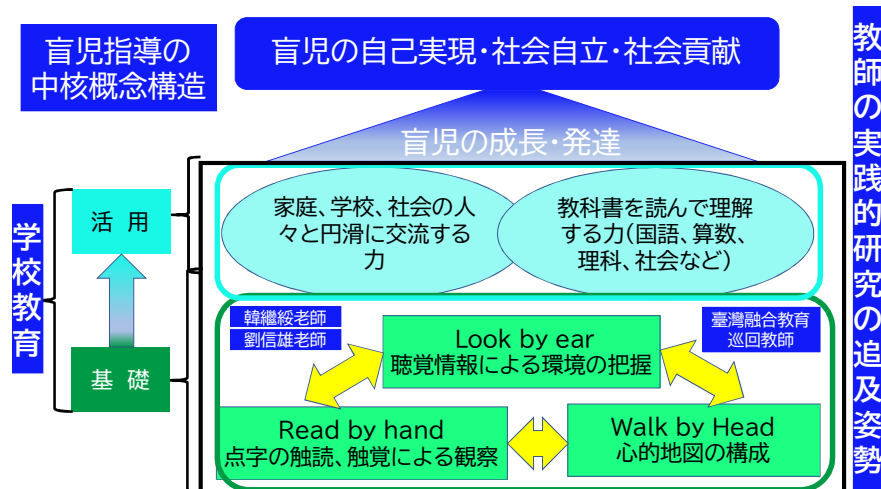
「体育は苦手だが、英語と数学は得意な子」... (transcription of the article text follows)

昭和50年(1975年) 6月3日 火

訳にくい漢字が多いからだ。だが、岩間君の普通高校での生活が、このように円滑に進むには関係者の隠された努力があった。まず、札幌盲学校の担任だった鈴木重男先生が、北星学園男子高校の近くのアパートに、岩間君と移り住んで、岩間君といっしょに入学した弱視の生徒と二人で共同生活を始めた。鈴木先生は、二人の朝食と昼の弁当をつくって、夕方別の学校へ出勤、夜は夕食をつくる毎日を送っている。

また、岩間君の教科書、試験問題の点字化、点字の使いやすいう学習機の整備などが、点字郵便のできる神田先生、外部の各福祉団体の手によって続けられた。神田先生は「みんなの協力がなかったら、彼のスタートはつまらなかったかもしれない」という。

岩間君のこれまでの生活を見守ってきた鈴木先生は「まだまだこれからだ。授業内容が高度になるにつれ、いろいろ支障が出てくるかもしれない。でも、全員は普通高校へいれない、という教育制

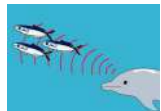


1 耳で見る Look by ear 聴覚情報で自身の周囲の出来事や環境を理解

耳で見る Look by ear 聴覚情報で自身の周囲の出来事や環境を理解

○盲児は、直接的・間接的な音を分析して、自分の周囲の環境を把握・同定しています。

- ・直接音は、物が自身で出す音が、直接、耳に届いた音。
- ・間接音は、物が出した音が壁などに跳ね返って耳に届いた音。



エコーロケーション Echolocation

動物は音や超音波を発し、その反響で物体の距離や方向、大きさを知ることができます。



日本、古来より、視覚障害者は、木製の下駄を活用



足の保護と下駄によるカラコロンという音を得て、そのエコーロケーションを活用可能と推測



福岡市博物館「座頭さんのくずれびわ（博多明治風俗園より）」より引用
<http://museum.city.fukuoka.jp/archives/leaflet/239/index.html>

流し按摩の下駄と笛は、共に音源として活用可能



Kusakabe_Kimbei_-_44_Blind_Shampooer.jpg
<http://www.wikipedia.org>

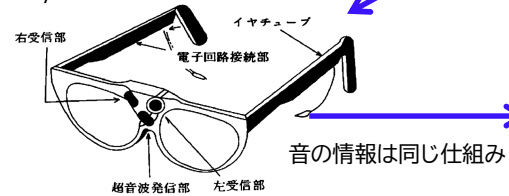
耳で見る道具の活用

Dr. Leslie Kay
超音波環境把握器

1979年 日本ライトハウスの支援でSonic-guideの指導資格取得、2台の導入⇒環境把握器として実践研究

Leslie Kay1969

Sonic-guide



Sonic-torch



K-Sonar



K-Sonarの特有の音色

コンクリート製電信柱5m → 50cm近く



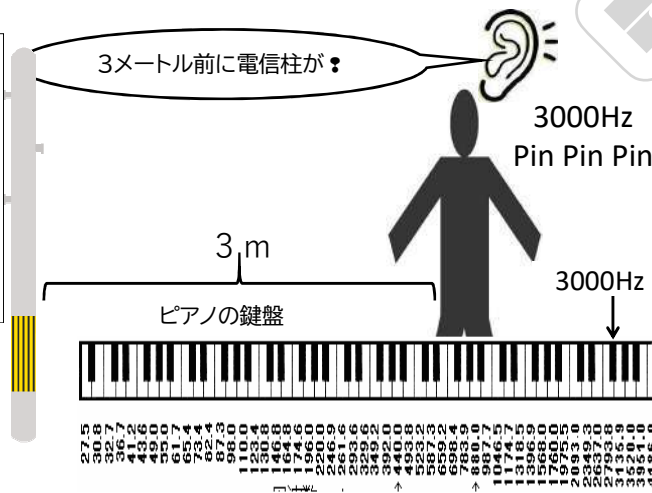
4.5cm幅の凹凸鋼板に対して平行移動



Dr. Leslie Kay
超音波環境把握器

物体までの距離
= 周波数

物体の素材・材質
= 音色



Sonic-guide & K-Sonarの音色の特性

静的状態: 物の正面からの音色

動的状态: 物の側面を平行移動時の音色

区分	静的状態の擬声音					
	ピン ピン〜	ピン ピン〜	リオン リオン〜	リヨシュ リヨシュ〜	ショヤ ショヤ〜	ジョヤ ジョヤ〜
動的 状態 の 擬 声 音	ピンピン!〜 標識ボール 街灯ボール	コンクリート 電柱				
	ジョアジョア〜	トタン看板	モルタル塀 レンガ壁			
	ピンピン!!!〜	コンクリート 塀 (つなぎ 目有り)		金網フェン スナイロン ネット		
	ビュッビュ〜 ブオブオ!!! 〜		ブロック塀			
擬 声 音	シュフィン シュフィン〜	工事用鋼板 防護壁	波型トタン 塀	金属フォン ス		
	ビュフビュフィ			アルミフェ ンス		
	シュアシュア〜					多種樹木の 生け垣
	シャアシャア〜	ビニールシ ート	石垣	粗いハケ塗 りの塀	密生したオ シロの生け 垣	雑草の土手

1979年、盲児に環境を把握する用具として、Sonic-guiduを指導

Evaluating Methods for Teaching Orientation and Mobility with Sonicguide

Sigeo Suzuki

Hokkaido High School for the Blind, 4-21, 4-chome, Fushimi, Chuo ward, Sapporo, Japan

Abstract: Sonicguide (S.G.) serves the function of "an eye" for blind persons. To make most effective use of the Sonicguide, trainers must evaluate training methods. This report introduces one way of evaluating training with S.G., through the handling of miniatures and of schematic drawings.

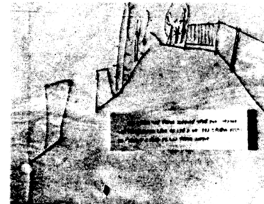
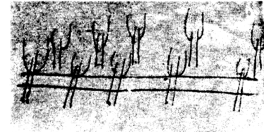
JOURNAL OF VISUAL IMPAIRMENT & BLINDNESS JANUARY 1986

537

538

JOURNAL OF VISUAL IMPAIRMENT & BLINDNESS JANUARY 1986

両眼摘出の中途失明児に
Sonicguideを指導して
風景画の指導



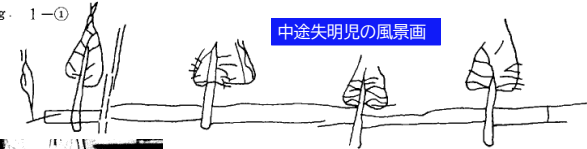
両眼摘出の中途失明児の風景画

指導現場から学校に戻っての
かなタイプライター
による現場状況
記録

第1日目 松浦 sonicguide 風景画 10月24日 午後4時 札幌市中央区南11条西18丁目

シャドウ ガワニ ガイロジユガ トウカンカクニ 4 ホン アリ アルキ ハジメタ ト
コロカラ スグノ ガイロジユノ スグソバニ デンチュウガ タッチ イタ ハンタイガワ
ハ コシグライノ タカサニ イシノ ヘイガ ツヅイテ イタ

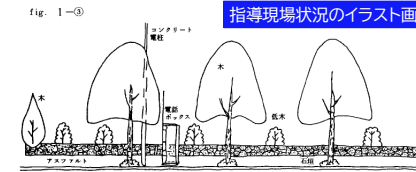
fig. 1-①



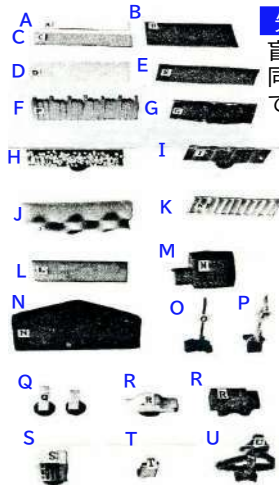
中途失明児の風景画



fig. 1-②



指導現場状況のイラスト画



先天盲児と早期失明児には、ミニチュアによるジオラマの作成

盲児は、Sonic-guideが提供する情報で環境構成物を把握・同定して、道路環境を環境物体ミニチュアの下部に磁石を付けて、鉄板の上に環境構成物を配置

Figure 1. Examples of attachment

A-the surface of the road made of asphalt; B-the surface of the road made of ground; C-the surface of the road made of grass; D-concrete; E-blocks; F-wood; G-hedge; H-stone; I-board like waves; J-snow; K-continuous poles; L-wire netting; M-a small building; N-a big building; O-an electric pole = street-lamp; P-a street tree; Q-a gate; R-a car; S-a telephone box; T-a vending machine; U-a garden plant.

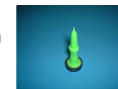
Evaluating Methods for Teaching Orientation and Mobility with Sonicguide

JOURNAL OF VISUAL IMPAIRMENT & BLINDNESS JANUARY 1986 537

盲児のK-sonarによる環境把握の表現:ジオラマの作成例
(事例提供者:現北海道札幌視覚支援学校勤務 神野紋子先生)

盲児は、K-sonarがディスプレイする音色により認識・同定
盲児は、認識した物体をジオラマとして作成

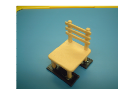
直径3cm
ボール



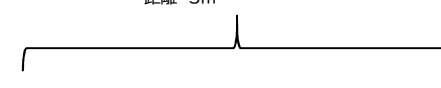
人物



椅子



距離 3m



骨導ヘッドホンを使用

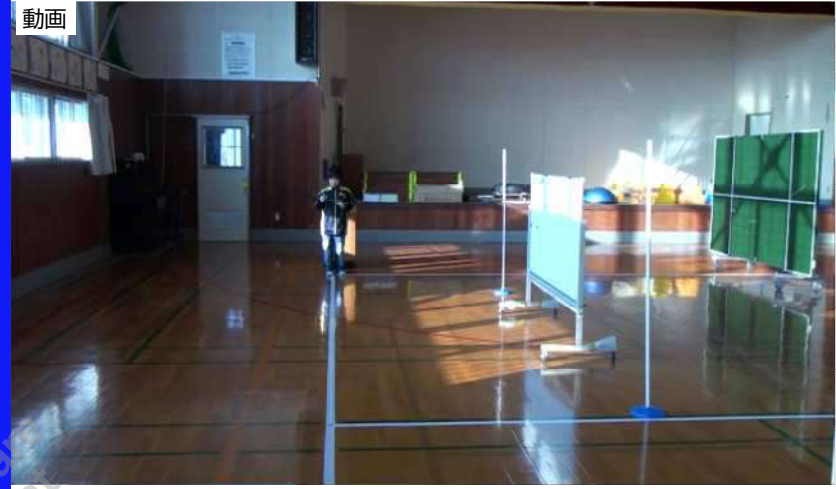


動画



神野紋子先生
現北海道札幌視覚支援学校勤務提供

動画



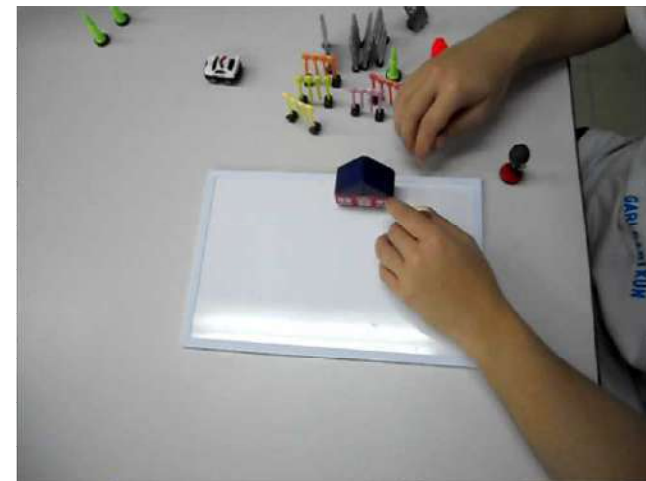
神野紋子先生
現北海道札幌視覚支援学校勤務提供

動画



神野紋子先生
現北海道札幌視覚支援学校勤務提供

動画



沓澤整治先生
現北海道教育庁特別支援教育課勤務提供

耳で見る 盲児は、聴覚情報で自身の周囲の出来事や環境を理解

盲児の教育では、盲児が持っている聴覚情報による環境把握の力を、最大限に高める工夫が重要



2 手で読む Read by Hand 鈴木式点字触読指導法の開発

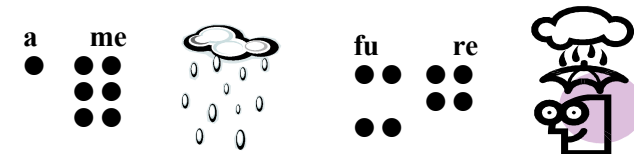
手で読む Read by Hand 鈴木式点字触読指導法の開発

- 1970年 北海道教育大学卒業後に北海道札幌盲学校に奉職
免許は、中学校・高等学校学校保健体育科、養護学校免許
2部専攻科(中途失明者等対応学科)学生が点字触読に難儀している実態
- 1971年 瀬尾正雄先生、1966年、「盲心理研究第14巻」に、東京教育大学付属盲
学校小学部1年生点字常用児4名、5月、6月、7月の点字清音46
文字の触読調査結果を報告。この報告内容を参考にして、点字触読難易
度を3段階に分けて、試行的に2部専攻科中途失明者に、夜間、点字触
読指導を実施
- 1972年 高等部の中途失明者と中学部の中途失明を予想される生徒に、点字触
読難易度4段階別に点字触読指導を実施
- 1974年 幼稚部、小学部の先天盲児と早期失明児、中学部の中途失明児、中途失明
が予想される児童生徒に、それまでの間の試行的指導結果を整理等して
点字触読の習得状況を5段階難易度別に整理した点字触読指導の内容・方
法＝鈴木式点字触読指導法で、点字触読の必要な盲児等を指導

第1段階 最も触読しやすい点字群

あ a	め me	れ re	ふ fu	う u	い i	に ni	く ku
●	●● ●● ●●	●● ●●	●● ●● ●●	●●	● ●	● ● ●	●● ●

The word “AME” in Japanese is Rain. The “FURE” in Japanese means to fall.



動画

AME FURE nursery rhyme 童謡



<https://www.youtube.com/watch?v=un3cSC9C6Q8>より引用

「ア」と「メ」の点字を使った遊びを工夫
課題が出来たらほめる 何よりもほめることが大事

1行にアとメを書き、「アアアアメアアアア」と声を出して読む。「メ」を見つけたらほめる。



イ 「アメ、アメ」遊び：飴を食べながら、「アメ、アメ、アメ、メア」と声を出して読む。



ウ 「アレレ」遊び：「アレ、アレからアレレ」を見つける。



エ 「ファファ」遊び：「ファファからファア」を見つける。



オ 「アメ、アメ、フレ、フレ」歌遊び：アメアメフレフレと点字を読んで、何度も歌う。

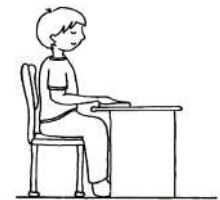


鈴木式点字指導法 日本点字清音46文字の5段階難易度配列

No.	A	Me	Re	Fu	U	I	Ni	Ku			
1	●○ ○○ ○○	●● ●● ○○	●● ●● ○○	●● ○○ ●●	●● ○○ ○○	●○ ●○ ○○	●● ●○ ○○	●● ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
2	●○ ●○ ○○	●○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	●○ ●○ ○○	●● ●○ ○○	○○ ●○ ○○	○○ ●○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
3	●○ ●○ ○○	●○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	●○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	●○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
4	●○ ○○ ○○	●○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
5	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●	●● ●● ●●

点字触読指導の3原則

- ・易から難への原則
触読認識しやすい点字からの指導
- ・ドリルの原則
繰り返しの指導
- ・個別化の原則
個別実態に応じた個別の指導



足の裏は床、膝は90度
・正しい姿勢の保持
・足・脚をブラブラさせない。
・聞き耳をつくらない

点字の触読は、左の人差し指で、触読できるように指導。右手は、転写で使用。
また、触読速読を向上させるため、清音46文字の触読指導に続いて、両手読みが可能になるよう指導

盲幼児等の低筋力盲児に対する点字打字指導の補助具

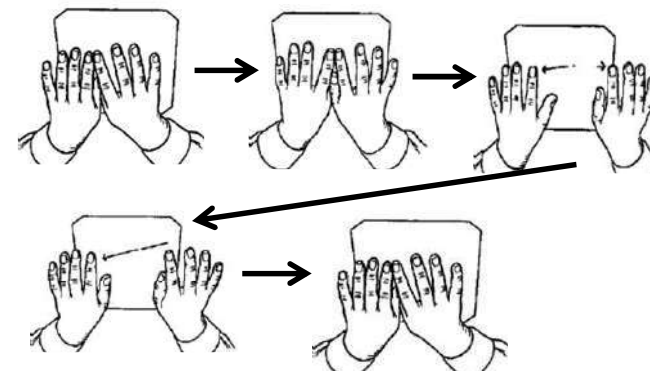


パーキンス製片手打ちキーセット

点字触読指導の始期は、普通児が文字を覚える3歳児から可能。また、幼児期からのパーキンスプレーヤーによる触読・打字の連動的指導が点字触読への効果を上げる。



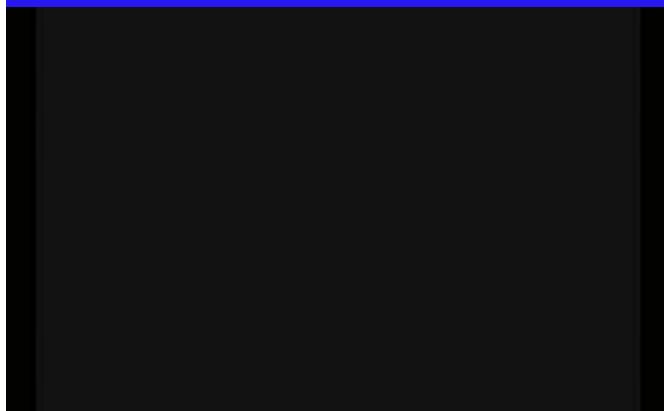
点字触読両手読み



両手読みは、左右の手の分担による

動画

点字触読両手読みの左右の手の連指
旧北海道高等盲学校長 澤 田 勝 昭 氏



盲児への普通文字指導(ひらがな)の工夫

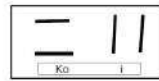
い	こ	り	に	け	た	し	も
i	ko	ri	ni	ke	ta	shi	mo
こい 恋 love 	こい 鯉 carp 	にこにこ smile 	たけ 竹 bamboo 笑臉 	もり 森 forest 	もしもし Hello 	いも 芋 Potato 	
koi	koi	Niko niko	Take	Mori	Moshi moshi	Imo	

既修文字の単語で練習

ひらがな46文字の構造により分類 難易度1
縦線 横線 1・2 右 左 十字 カギ

ひらがな指導の基本文字

i ko ri ni
ke ta shi mo
け た し も



鯉 Ko



恋 Ko

難易度1 (1-型)
い こ り に け た し も
い こ り に け た し も

難易度4 (4-型)
よ ま は ほ す な む み
よ ま は ほ す な む み

難易度2 (2-型)
く へ て き け け ん ぞ
く へ て き け け ん ぞ

難易度5 (5-型)
の め ゐ あ お ょ
の め ゐ あ お ょ

難易度3 (3-型)
つ う か ち ら や と せ
つ う か ち ら や と せ

難易度6 (6-型)
ろ る ひ わ れ な ん せ
ろ る ひ わ れ な ん せ

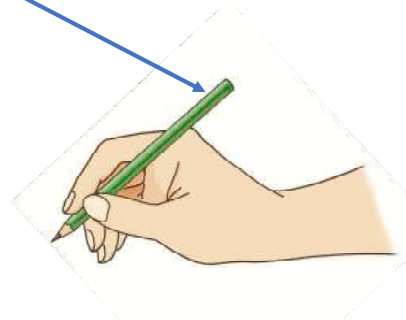
鈴木重男「視覚・聴覚・言語障害児の医療・療育・教育第2章 視覚障害児の学校教育113-114」金芳堂2011より引用

普通文字の指導 箸の持ち方



盲児に筆記用具を正しく持たせるため、お箸を正しく使用することができるよう留意

お箸を正しく持った時、下側のお箸を抜いた持ち方が、筆記用具の正しい持ち方になっている。



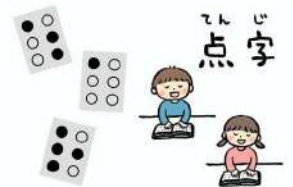
手で読む Read by Hand 盲児個々の実態に応じた指導の工夫

盲児の教育では、点字の習得が教科学習の基盤
重複障がいの盲児も点字触読は可能



触察
指と指を重ねて指使いを体感指導

3歳児
点字触読は可能



3 頭で歩く Walk by Head 心的地図の構成力を高める工夫

頭で歩く Walk by Head 心的地図の構成力を高める工夫

(版一第) 訊通苑明啓 日一月五年三十六國民華中
INFORMATION OF CHI MING YUAN May 1, 1974

談盲童身體形象觀念之培養 劉信雄

一、前言
明眼兒童在入學前，對一般社會早已有相當的認識，對於身體形象之認識，亦不例外。盲童則不然，他們對身體形象的認識，是從小開始，且是逐漸的。因此，在教學過程中，應注意培養其身體形象觀念，以供其生活之參考。

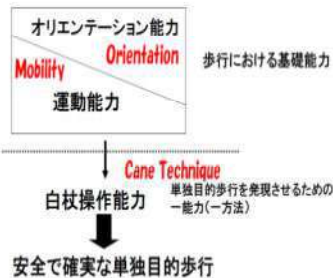
二、盲童應知道些什麼？
① 了解在環境中，物體上下、左右、前後移動的情形。
② 了解身體各部之名稱，並能指出其位置。
③ 了解身體各部之功能，並能說明其用途。
④ 了解身體各部之形狀，並能說明其特徵。
⑤ 了解身體各部之位置，並能說明其關係。

劉信雄先生から講義
B.J.Cratty
「Body Image」資料
日本でのボディイメージの概念は、肢体不自由教育の療育概念

盲児の歩行発現の仮説 Orientation & Mobility

その環境における、自分自身の位置を、常に、定位しながら、安全な方法で、目的地まで、移動すること

盲児の歩行指導



VOL. I No.2 February 1977

RESEARCH BULLETIN

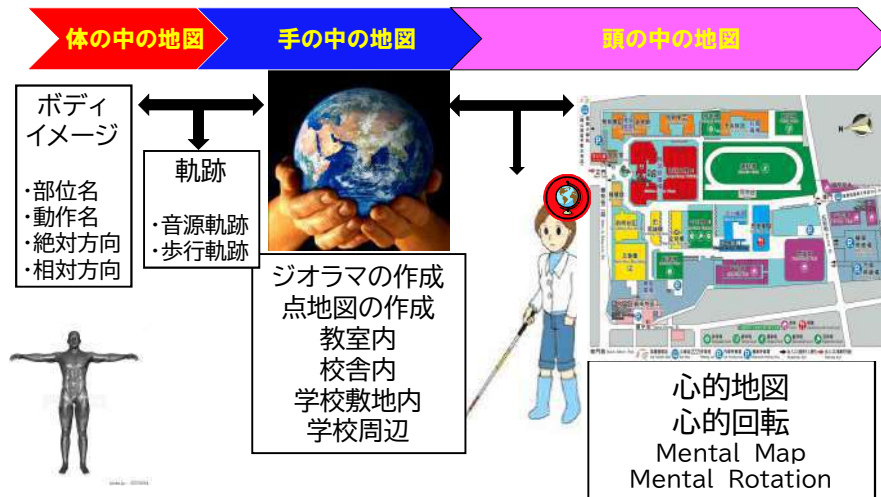
CONTENTS

Forward	Hiroaki Seki Assistant Director Nippon Lighthouse, Adjustment & Industrial Training Center for the Blind
Vocational Rehabilitation of the Visually Impaired and Blind Persons	Tedao Koda Professor Department of Sociology Kansai University
Sheltered Workshops for the Blind Persons	Ryoji Tanaka Managing Director Tokyo Lighthouse for the Blind, I.N.C.
Progressive Approach of Orientation & Mobility Training Program for the Congenitally Blind & Newly Visually Handicapped Children	Shigeo Suzuki Teacher Hokkaido Sapporo School for Blind
Outline of Ophthalmic Treatment in Nepal	Itaru Kuromaki Hyogo College of Medicine Association for Ophthalmic Cooperation to Asia

Published by
ADJUSTMENT AND INDUSTRIAL VOCATIONAL TRAINING CENTER
Nippon Lighthouse, Welfare Center for the Blind
OSAKA, JAPAN

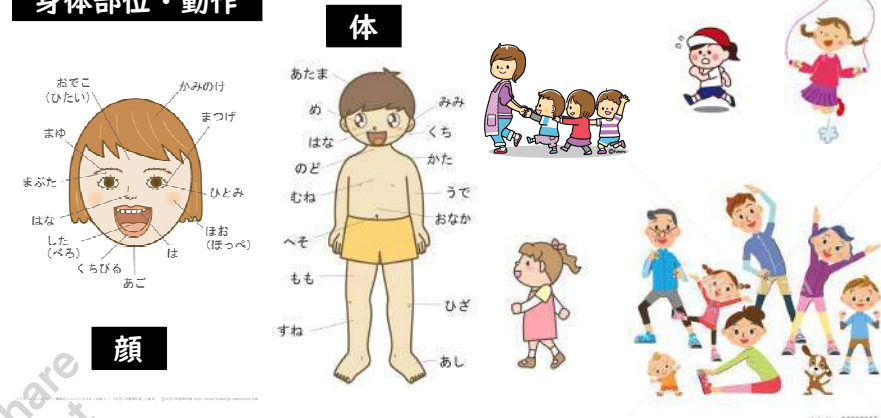
盲児のOrientation & Mobility 12の要素

- ボディイメージ要素
 - 自分の体の部位の名称
 - 他人の体の部位
 - その場での動作
- 方向概念要素
 - 5方向
 - 9方向
- 対音源歩行要素
 - 前方音源
 - 8方向音源
- 音源軌跡要素
 - 軌跡板による操作
 - 交差点のモデル学習
 - 軌跡ルートの読図
- 歩行軌跡要素
 - 軌跡板による操作
 - 読図歩行
- 対風、対太陽に対しての身体の方角づけ要素
 - 対太陽
 - 対風
- 空間構成物の関係把握要素
 - 教室内
 - 校舎内
 - 学校内
- 白杖探索要素
 - 白杖は何かを見つけてくれる
- 白杖操作要素
 - タッチ・テクニック、スライド・テクニック、ショート・テクニック
 - ダイアガナル・テクニック
- 歩行標識と点地図作成要素
 - 学校周辺
 - 地域
- 読図歩行要素
- 雪路白杖操作要素



Body Image の基本的内容 身体部位・動作 全ての基盤

身体部位・動作



触地図の指導内容 1

内容1 軌跡とは何かを教える

- ①静的軌跡(子供自身を中心としたときの 刺激の軌跡)
 - A 水平面における音源の軌跡
 - B 音源軌跡の標識化
- ②動的軌跡(ある地点を基準とした時の子供自身の歩行軌跡)
 - A 狭小空間における歩行軌跡
 - B 狭小空間における方向を中心とした読図

・線(起点と終点)の理解
⇒ 軌跡の活用

内容2 地図とはどんなものかを考える

- ①直線的位置関係にある出発地点-目的地点の地図構成⇔読図
- ②校舎内の配置構成⇔読図
- ③学校内の配置構成⇔読図

・絵地図の理解
⇒ 出発地と目的地の空間位置関係の理解

内容3 空間構成物を標識化することを教える

- ①学校周辺の構成⇔読図
- ②学校近辺の構成⇔読図

・標識と空間の縮小概念の理解
⇒ 点地図の作成と導入

触地図の指導内容 2

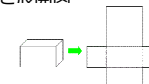
内容4 地図を使うことを教える

- ①未経験地域の読図歩行
- ②訓練地域の地図作成

・点地図の読図
⇒ 歩行指導の評価としての点地図の作成

内容5 点図の読み方を作業を通して教える

- ①点図の触読
 - A 点図と厚みのある平面物(例段ボール製)との対応
 - B 点図の触読によるペグボード構成
- ②図形構成
 - A 大脇式知能検査器具
 - B スタンフォード・コオ式ブロックデザインテスト
- ③立休と展開図



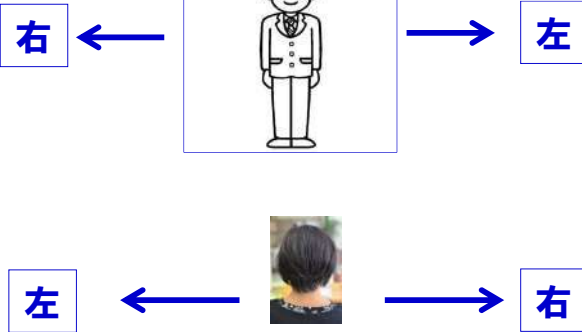
- ④視覚的点図(教科書)の理解
 - A 実物との対応
 - B レーズライターへの転写
- ⑤立体構成
 - A ストリップアッセンブリー
 - B プラモデル
- ⑥普通文字の書き、読み

絶対的方向と相対的方向 LateralityとDirectionality

ヘレンケラーの
人形あそび



<https://bushoojapan.com/world/america/2019/06/27/24366>引用



ボディイメージ 人形と可動マネキン

全可動マネキン人形等 各種人形

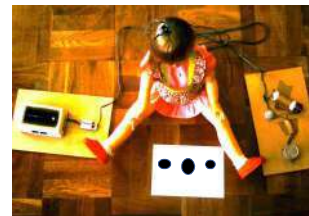


顔と体の部位配置と名称



デッサン人形

音源定位指導の工夫

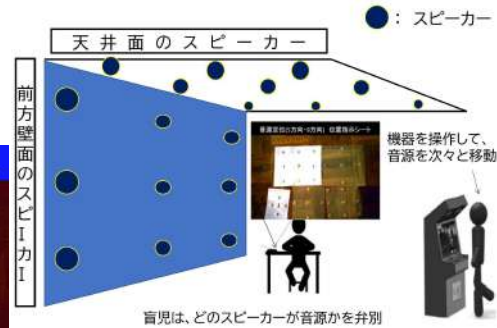


音源軌跡指導装置(自校開発)

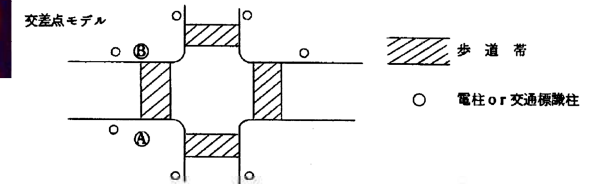
18個のスピーカーと音源位置が対応して移動するパイプライン付き表示機



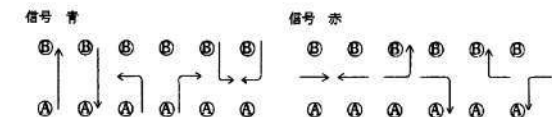
音源軌跡指導装置



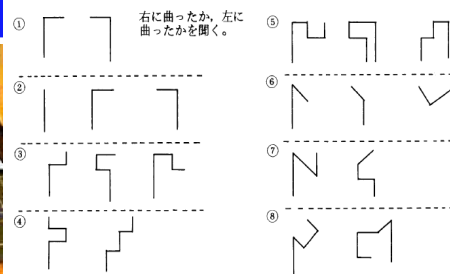
音源軌跡指導装置 交差点モデル学習



〔例〕A地点からB地点に横断する時の音源の移動と信号の色



歩行軌跡 ベルト歩行



右に曲ったか、左に
曲ったかを聞く。



盲幼児等低筋力児の白杖の工夫 自作例

低筋力の盲幼児・盲児の白杖探索

- ・白杖は、何かを見つけてくれる道具
- ・白杖は、音を出してくれる道具
- (白杖が土や草、アスファルト、電柱等に触れると独自の感触と音がする)
- ・エコロケーションで物体同定時は、大きな称賛

ゴルフのシャフト

釣竿

バドミントンラケット

盲幼児個々の状況に応じて、軽く振れるように適宜な長さに切断

教室ジオラマ

実際の教室内備品との対応 縮小概念

<https://www.beachland.jp/omocha/pavilion/pa.as>
p?pa=4より引用



<https://www.cafereo.co.jp/goods/34725>より引用



<http://bb.kofu-th.ed.jp/archi/seitosakuhin/h19/mou.html>より引用

札幌 11月～3月、5か月間、降雪時期 雪道歩行の白杖補助具の工夫

Winter Traveling in
Hokkaido Land Japan

Sigeo Suzuki

Hokkaido High School for the Blind,
Fushimi, 4 Chome, Sapporo, Japan.



(No.1) (No.2) (No.3) (No.4)

雪に白杖が突き刺さらない白杖石突部のアタッチメントとして、プラスチックボール(1)やピンポン球(2)など付けて実験。ゴムスポイト(3&4)が、雪路面情報を的確に捉えることを把握

☆雪道パターンの抽出(1974年～1976年)

3年間、雪道を同じ場所の道路で定期的に写真記録し、その写真をカテゴリー分析。降雪時期を3期に分類

○降雪初期

太陽熱や車の交通で、降雪後、アスファルトなどの路面が露出、夏道の道路パターンと類似

○本格的降雪期

通行する者と除雪により、交差点パターンや車道と歩道を隔てる道路パターンなど特有の雪道パターン

○融雪期

凍結した歩行路面と、アスファルトが露出した車道の組み合わせが基本

写真分析の雪路パターン1 サーマフォームで触図を形成

ア 歩行路の形状 : 障害物を避け蛇行する。

図21



イ 車歩道の区別のない道路の道端の状態

図22

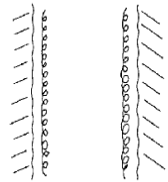


図23 図23の断面図



写真分析の雪路パターン2 サーマフォームで触図を形成

ウ 車歩道の区別のある道路の形状

図24

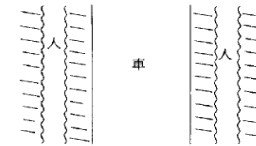
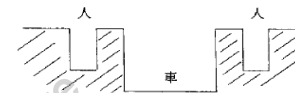


図25 図24の断面図

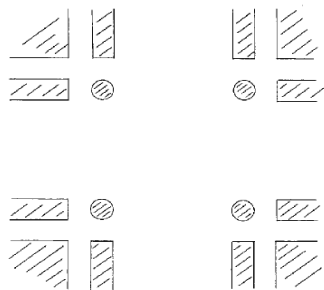
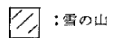


写真分析の雪路パターン3 サーマフォームで触図を形成

エ 車歩道の区別のある道路同志の交差

点の形状

図26



1974年～ 雪道のパターンの分析 季節変化と1日変化



降雪初期



本格的降雪期



融雪期



道路の補修



降雪日 午前5時



降雪日 午前9時

動画



https://www.youtube.com/watch?v=2th8nJ_mSME より引用

冬期間の札幌 吹雪・大雪の現実 盲児の単独歩行は絶対禁止

~~Walk by Head~~ 吹雪



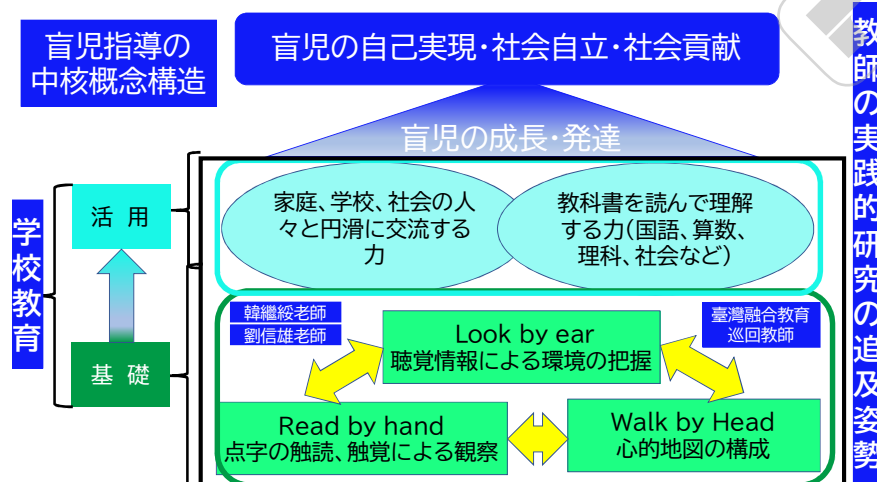
大雪後 ~~Walk by Head~~



~~Walk by Head~~ 大雪



大雪後 ~~Walk by Head~~



私が臺灣で50年前に韓繼綏老師、劉信雄老師、盲児融合教育の巡回教師から学んだこと。

- 盲児にできないことはない。
- 盲児ができないのは、教師の実践的研究心が足りないからである。

臺灣 教師法

第33條 各級學校教師在職期間應主動積極進修、研究與其教學有關之知能。

日本 教育基本法第九條

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

盲児の日々の教育を担当する教師は、教師の本務として定められている実践的研究を、日々、行い、盲児の課題を解決するよう努めるべきである。

最も良い教師は、子どもと共に笑う
最も悪い教師は、子どもを笑う

A. S. Neill 1883-1973